

下水汚泥溶融スラグを活用したジオポリマー固化体

技術 情報

特願:2008-320278
出願者:長崎県、国立大学法人山口大学

ココがすごい!



スラグなどの廃棄物未利用資源を100°C以下で
固化でき、焼成固化と比べ二酸化炭素の排出を
抑制できます。

技術 概要

- ・下水汚泥溶融スラグに水ガラスと苛性ソーダを原料とする硬化液を加えることで、ブロック状の固化体を得ることが出来ます。
- ・下水汚泥溶融スラグは、硬化までに数時間要するために、鑄込みなどの作業時間を確保でき、製造に向けたスラグであることを見出しました。
- ・硬化体の強度は、セメント並みの曲げ強さを有しています。



下水汚泥溶融スラグ



固化体サンプル

【応用例・活用分野 等】

- ・スラグ、石材粉などの廃棄物再利用
- ・コンクリート2次製品代替材料

【企業へのメッセージ】

- ・未利用の資源の有効活用技術としてご利用ください。
担当者までご相談ください。

連絡先

機関名:長崎県窯業技術センター

所在地:長崎県東彼杵郡波佐見町稗木場郷605-2

担当部署:

電話番号:0956-85-3140

FAX:0956-85-6872

E-mail:info@crcn.jp

HP: <http://www.pref.nagasaki.jp/yogyo/>